

第41回

甲府空襲 戦争と平和・環境展

「語り継ごう 20 世紀を 創ろう平和な 21 世紀を」

～今こそ考えよう 世界平和のために わたしたちができること～

入場無料

期日 2022年7月1日(金)～6日(水)

時間 AM10:00～PM6:00

1日(金)はPM2:00より

6日(水)はPM3:30まで

場所 山梨県立図書館・1階イベントスペース

入場無料

会場内展示内容

- 【甲府空襲と戦時下の様子】 ●戦時下のくらしの記録写真と当時の生活用具
●空襲による被災の記録写真 ●甲府空襲体験記録集
- 【長く続いた戦争】 ●ヒロシマ・ナガサキの被爆実態 ●沖縄戦
- 【戦争と教育】 ●県内小中学校の平和教育 ●昔の学校 ●教科書
- 【世界の紛争】 ●紛争の歴史
- 【語り伝え・紙芝居】 ●甲府空襲・戦争体験 ●「もうひとつのたなばた」(紙芝居)
- 【環境・国際支援】 ●食の安全について ●環境リサイクル ●ユニセフ展示



若手教職員による特設展示企画

ウクライナ戦争と世界の戦争・内戦・紛争、そして日本

ウクライナで大きな戦争が起きています。それは地域紛争にとどまらず、世界大戦、核戦争も危惧されている大変な状況にあります。今回の展示では、ウクライナ戦争をはじめとして、私たちが目を向けなければいけない世界の戦争とそれにより奪われる命、日本のこれまで、今、そしてこれからの平和と平和教育について、甲府の若手教職員で調べてまとめました。世界的な危機が叫ばれている今こそ、子どもたちに平和な社会を引き継ぐために、私たちができることをぜひ一緒に考えていただければと思います。



主催 第41回 甲府空襲 戦争と平和・環境展実行委員会

事務局 TEL055-222-1541

甲府空襲とは・・・

甲府市は、第二次世界大戦・太平洋戦争の終戦間際の1945年（昭和20年）7月6日深夜から7月7日未明にかけて、アメリカ軍の大規模な空襲を受け、一晚にして焼け野原になってしまいました。この時には、都会から戦火を逃れ避難してきていた人々も含め、直接戦争をしていない多くの一般の人々が犠牲になりました。この空襲で、死者は1,127名、負傷者1,239名、被害戸数18,094戸にのぼる大きな被害を受け、甲府市は市街地の74%（79%とも言われる）が焼きつくされ、破壊されてしまいました。（1974年（昭和49年）7月調査）

この空襲は、アメリカ軍のB-29爆撃機によるもので、131機もの飛行機から978トンもの爆弾・焼夷弾が雨のように落とされたのです。当時の甲府は、昭和の有名な作家で、甲府空襲を体験した太宰治が、著書『新樹の言葉』のなかで甲府の街を「きれいに文化のしみとおっているまちである」と表現しているように、明治時代からの西洋的な洋風建築の建物が建ち並び、小さいながらもきれいでおしゃれな街でした。

そのきれいな街並みが、一回の空襲で火の海となり多くの人々が命を落とし、住む家を焼かれ、傷つき、すべてを失ってしまったのです。この甲府空襲は、7月6日から7月7日未明にかけて発生したため、「たなばた空襲」とも呼ばれています。被害は、石和・玉穂・甲運・富士見・境川・春日居・玉幡・昭和・竜王など、甲府周辺の13町村（当時）にも及びました。

▼甲府地区の犠牲者数

地区名	犠牲者
富士川地区	74名
琢美地区	191名
相生地区	112名
新紺屋地区	16名
湯田地区	427名
穴切地区	41名
春日地区	25名
朝日地区	40名
伊勢地区	43名
貢川地区	3名
国母地区	12名
里垣地区	23名
相川地区	8名
県市外	82名
住所不明	30名
合計	1,127名

太宰と甲府空襲

「人間失格」、「走れメロス」などで知られる、日本を代表する文豪である太宰治は、今から80年以上前の昭和13年9月に甲府を訪れており、甲府空襲も経験しました。その経験を元に書かれた「薄明」という作品には、甲府空襲の様子が詳しく書かれています。図書館にお越しの際はぜひそちらの作品にもふれてみてください。

博学連携

期間中、県立図書館にご協力いただき、平和関連圖書の展示・貸し出しを行っております。ぜひご覧ください。（1階児童資料コーナー）

「主催者を代表して」



今から77年前の7月、甲府市中心部では、空襲による火災で多くの方が命を落とされ、家を失いました。まったく同じ出来事がウクライナでは今日も繰り返されています。

甲府空襲と違うのは、ミサイルなどによる攻撃の映像が、世界中に伝えられていることです。日本でも多くの市民の方が心を痛め、何らかの支援活動に参加しています。一方で、日本政府は抜本的な防衛力強化を行うとし、敵基地攻撃能力や核兵器の共有にまで触れ、軍事大国化をさらに進めようとしています。私たちの住む山梨県では、すべての自治体が「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、平和行政の推進を決意したのです。もう一度その原点に戻る日が来ていると思われれます。まずは甲府市から、世界に情報発信をしていきましょう。

実行委員長 手塚 仁

〈主催団体〉山梨県平和センター・山梨県教職員組合
 ・自治労山梨県本部・甲府市職員組合・甲府水道労働組合・生活協同組合パルシステム山梨・女性会議本部
 ・山梨県退職現職女性教職員の会・山梨県母と女性教職員の会・山梨退職者団体連合・全農林労働組合やまなし分会・食とみどり、水を守る山梨県民会議・山梨非核平和の旅実行委員会
 〈協賛団体〉連合山梨・環境と平和を考える県民の会

「第41回 甲府空襲 戦争と平和・環境展」開催によせて



「第41回 甲府空襲 戦争と平和・環境展」が、世界平和と環境保全を願う皆様の手によりまして、盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

最近では、ロシアのウクライナへの侵攻など、世界情勢は深刻さを増しており、世界平和への道のりが険しいことに心を痛めております。

こうした中、本市では、小中学生の作品による平和ポスター展や、防災無線を活用した平和祈念の黙とうの呼びかけなど、平和意識の醸成に努めております。

今後とも、本市各事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本展示会の盛会を心から祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

甲府市長 樋口 雄一

〈後援〉山梨県・甲府市・山梨県教育委員会・甲府市教育委員会・山梨県PTA協議会・甲府市小中学校PTA連合会・山梨県公立小中学校長会・甲府市公立小中学校長会・山梨県公立小中学校教頭会・甲府市公立小中学校教頭会・青少年育成甲府市民会議・甲府市自治会連合会・山梨県女性団体協議会・甲府市女性団体連絡協議会・山梨日日新聞社・毎日新聞甲府支局・読売新聞甲府支局・朝日新聞甲府総局・テレビ山梨・山梨放送・エフエム富士・エフエム甲府・NHK甲府放送局